

2024年3月6日（水）に開催いたしました。

1名の方がいらっしゃり、薬剤師が相談に対応しました。  
ご来局いただきありがとうございました。

もらった薬が使えていない

軟膏、テープ剤や点眼薬など容易に使用できる一方で、使い方が分からない、間違っていたなどのお話を伺います。普段、薬を使っている方も、症状が出た時だけもらっていたりすると、このような状態が生じるのかもしれない。

今回のお薬は吸入薬でした。使い方は難しいものもあります。薬局ではご自身と一緒に練習するのが一般的ですが、風邪などの場合にはご家族が取りに見えられることも。しかし、今回の患者さんは使い方が分からないというわけではなく、吸うことができないとのこと。ご年齢などにより、このようなケースはあります。吸入薬の種類を変えることで使えることもありますし、補助器具を付けることで改善するケースもあります。続けることがとても大事なお薬でしたのでご相談いただいてよかったケースでした。



中央薬局では、災害や新興感染症の発生時など、行政や地域の医療機関と連携して、医薬品供給や衛生管理に係る対応ができる体制を確保するように努めています。